



響をもたらしました。

一方、当地域におきましては、全体としては緩やかな回復基調が続きましたが、景気回復の実感は乏しい状況にあります。人口減少の加速化に伴い、あらゆる業種で人手不足が深刻化しております。

このような中、静岡商工会議所では、第2次中期行動計画の最終年度を迎え、「地域企業から選ばれる、存在感ある組織」をめざして、その実現に取り組んでいるところです。

商工会議所の主たる業務は、やはり地域企業の経営支援であります。1万3千会員事業所が元気になる、そして地域が活性化する、それをサポートするのが当会議所の役割だと思っております。

当会議所では、企業のあらゆるライフステージ（創業・成長・発展・承継）に対応した専門の相談体制を整えており、これだけの体制を整えている商工会議所は、全国でも静岡だけですね。今後、こうしたサービスを分かり易く発信してまいりますので、会員の皆様には、どのような相談でも結構ですので、ぜひ当会議所をご利用いただきたいと思っております。

人手不足への対応としましては、今年度から就職支援課を設置し、無料

職業紹介サービスを始めるなど、労働力「量」の確保への支援を始めたところです。来年度から3ヶ年の第3次中期行動計画には、これまでの「企業づくり」「地域づくり」「基盤づくり」というテーマに「人づくり」を加え、生産性向上や人材育成による「質」の向上にも取り組んでまいりたいと考えています。

この他にも、円滑な事業承継の促進や、第4次産業革命とも言われるIoT、ビッグデータやクラウド等の利活用、時代の流れに適応した働き方改革の推進、地域連携による広域観光振興、歴史や海洋文化など静岡・清水両地域の特性を活かしたまちづくりなど、地域企業の持続的発展や交流人口拡大への取り組みに力を入れてまいります。

そのためには、会員事業所や行政機関、関係諸団体の皆様との「顔の見える関係づくり」が不可欠であり、それが商工会議所活動の原点だと思っております。

当地域経済の活性化に向け、役職員一丸となつて取り組んでまいりますので、引き続き皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして素晴らしい一年になりますようご祈念申し上げます。

